LIFE in SHINSHU 05

森と刻む豊かな時間

Builder：サンプロ建築設計　Place：茅野市　Family：夫婦

森の中での暮らしを求め、この地に移り住んだAさん夫妻。二人で過ごす時も、それぞれが好きなことを楽しむ時も大切にできるように。豊かな自然と心地よくつながる住まいが、「家時間」の大切さを教えてくれました。



A | B | C | D

A_デッキテラスの向こうに設けた視線よけの壁には、小鳥たちが憩いにくる。森やそこに暮らす生き物たちの小さな変化にも日々のよろこびを感じる。　B_もとからある森に家が自然に溶け込むように、四季の移ろいを感じさせてくれる多様な樹種の木々を植えた。　C_高い住宅性能を備えたサンプロの家。標高1200mの高原の森でひと冬を過ごしても、家の中で寒さを感じることはなかったという。　D_片流れの大屋根が目を引く外観。高原の森に350坪の広い敷地を購入し、このコンパクトな平屋を建てた。





森に溶け込みながら
森の時間を楽しむ演出

森の中に立つそのコンパクトな平屋は、ボリュームのある大屋根が印象的でありながら、周囲の森に自然に溶け込んでいます。広大な敷地に生える木をできる限り残したこと。上品でいて自己主張しすぎない家づくり。そして、もとの森と人工物である家を馴染ませる造園家の仕事の妙。自然豊かな環境に家を建てるお手本を見るようです。

A夫妻は「元気でいられるうちは森の中で過ごそう」と、一帯が別荘地で、下水道などインフラがはじめから整っていたこの土地に家を建てることにしました。ビルダー選びで候補に挙がった6社ほどの中から、サンプロを選んだのは、屋内外ににじみ出る上質な空気感と、それを生み出す素材使いの巧みさが、二人の感性に響いたからでした。

外観から感じられる森との一体感は、家の中に入るといっそう深まります。森と向かい合うLDKの大開口、床のチーク材と天井のピーラー材の調和、外観のイメージと森の息吹をさりげなく室内に取り込む軒天井と室内天井の連続性。さらに、グレージュの壁と木部の落ち着いたトーンも、静かで穏やかな森の時間を味わうための







E
F
G
H

E_床はチーク材、天井はビーラー（木目の緻密なベイマツ）。色合いや木目の異なる2つの樹種が協奏しながら、本物の素材がもつ気品を漂わせている。 F_LDKは床から吹き抜けの天井までの大開口にした。ダイニングテーブルやリビングのソファなど、居場所ごとに眺める景色の違いも、目を楽しませてくれる。
G_リビングダイニングは、天井の間接照明をベースに、ご主人が照明を効果的に配置。この空間に流れる静かな時間を、柔らかな光が包み込む。 H_デッキテラスでは、森との一体感をよりいっそう感じられる。はじめに森ありき。後から建てた家が森に溶け込むよう、庭づくりにも心を配った。





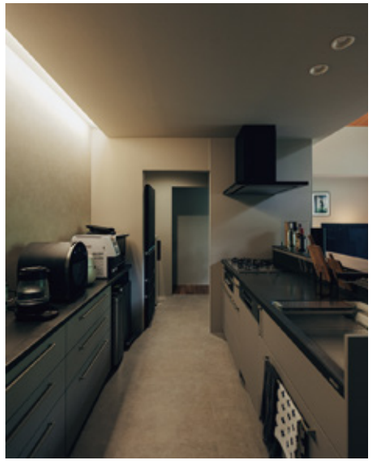
心地よい演出です。

「お客様のこの先の人生にとって居心地の良い起点となるように」と設計士。「今の好みや流行に左右されない、10年先20年先に良かったと思える空間づくりを」とインテリアコーディネーター。その想いが見事に結実しています。

二人の時も一人の時も
家時間の大切さを
実感させてくれる

「家の中では互いに好きなことをしよう」というのが二人のスタンスです。だから、森の時間を楽しむこの家は、夫婦がそれぞれ一人の時間を楽しむ家でもあります。ご主人はガレージで愛車のメンテナンスに勤しみ、







あるいは書斎でプラモデルづくりに興じます。一方、個々に設けた寝室で、奥様は本の世界に浸ります。気心の知れた夫婦だからこそ、相手の気配がしてもしなくても、互いに充実した時間を過ごしていることが分かり合えるのです。

二人の時間も大切にしています。お酒好きの夫妻は、晩ご飯の食卓でグラスを傾けては、日く「ばかっ話」に花を咲かせるのだとか。サンプロによる最小限の間接照明をベースに、ご主人が適所に配置した照明の灯りに包まれながら、今夜も夫妻の柔らかな笑顔が浮かんでいるはずです。

かつて仕事でスウェーデンを訪れたときに知った「家時間の大切さ」を、今この家で実感している。森に包まれ、二人で和やかに、ときには思い思いに過ごしながら……。そうご主人が話すのを聞いて、奥様は黙ってうなずいていました。

書斎に掛けられたご主人の祖父譲りの古時計は、またとない居場所を得たように、温かな時を刻んでいました。



I | J

K

L

M | N

I_キッチンの背後に見えるのが洗面室。その右手には、ランドリーやバスルームが続く。　J_家事動線を重視し、キッチンを中心としたゾーニングを採用。そのキッチンはクールな佇まいと使い勝手の良さを両立している。　K_木々の梢が風で静かに揺れるのを窓越しに眺める。森と対話する時間が今日一日を労い、新しい一日を励ましてくれる。　L_350坪の広大な敷地に立つA邸。上空から見ると、この平屋が森に抱かれているのがよく分かる。　M_静かな環境で、ゆっくり音楽に耳を傾けるのも楽しみのひとつ。この日流れていたのは、ビートルズ。　N_&Traditionのランプが灯す柔らかな光の中、二人でグラスを傾けるひと時。





OWNER　Aさん

POINT 1　信州に暮らしてよかったこと

車を運転できるうちは森の中で暮らしたい、と話していた思いが叶いました。静かな環境で、好きなことに心を傾けられる暮らしが気に入っています。

POINT 2　家づくりでよかったこと

年月を重ねるほどに味わいと愛おしさが増す、本物の素材を提案してくれたこと。そして、毎回の打ち合わせも楽しい時間でした。

POINT 3　先輩としてのアドバイス

移住を決めるときだけでなく、10年、20年先の暮らしまで見据えて、インフラなどの生活環境を吟味することが大切だと思います。

株式会社 サンプロ
塩尻市広丘吉田662-9
0120-364-655
https://www.sunpro-style.jp